

〈住吉区ホームページより〉

## 公立幼稚園民営化についての 意見交換会 保護者の意見

(抜粋)  
(2012年9月11日、10月29日)

- 3年生の子どもが私立の保育園の教育内容が合わず、ついていけなくなり笑うことができなくなったが、住吉にかわり笑顔を取り戻し元気に通っていた。子どもの心を大切にるので思いやりのある心が育つ。人間として当たり前のことをごく当たり前に学べる場所が公立幼稚園だ。私立だと英語そろばん等小学校以降にできそうなことを売りとしていて、肝心なところを無視している。公立は営利目的ではないので幼稚園の大事なこの時期に子どもの心を育てることができる。
- 私立に入園の問い合わせをした際に子の障がい伝えたと、無理に通園させる必要ないのではと入園を拒否された。
- 墨江幼稚園では障がい児を受け入れている。子どもたちは自然な形で障がい児とかかわって育っていく。障がい児とどう接したら喜んでくれるかなどを子どもたちは自発的に考えて接している。一番大切なこの時期に、毎日の中で一人の人を育てることをしなさいではなく、しようというように自然に自発的にできるよう教育しているのが市立のすばらしさだ。
- 私立は経験の浅い、若い先生が多く相談事があるときに困る、様子が見えない、園児人数が多く、自由に遊ぶ時間、園庭での遊びが少ない。
- 公立はベテランの先生が多く、親同士の交流があり、自然が多く体を動かし思いっきり遊ぶことができる。
- 幼稚園児にとっては、与えられたことをこなせるより、自発的に遊びをみつけていく力を養っていくことが必要。自分の意見を持てるよう育てている公立の教育すばらしい。
- 小さい子がおり、働き先もなく、私立の高い保育料は払えない。平等に教育を受けさせるために公立幼稚園を残してほしい。
- 私立ものびのびしている園もあるが保育料が、

- 高くて行かすことができない。
- 上の子どもが私立幼稚園で登園拒否になった。私立は園児を集めるための教育になっている。
- 私立幼稚園は、特色を出すため専門指導員がいるが、ついていけなくなり退園する子もいる。
- 下の子は市立幼稚園を選択した。子どもの心を大切にしてくれ、のびのび通っている。保育料負担が少し増えるくらい、5000円くらいならみんな理解してくれると思う。
- 私立幼稚園での勤務経験があるが、そこでは子どもについて相談し合うような会議はなく、行事中心で、どんな行事をすれば人気ができるかということに感心がある。
- 市立幼稚園に3歳児保育がないのがそもそも問題。そのため私立に行かせている人が多い。
- どろんこ遊びをさせてくれる私立幼稚園が周りにはない。
- 3歳児学級、クーラー設置要望書を大阪市に提出している。実現すれば、園児が集まる。充足率の問題も要望を加味してもらえば、かわるのではないか。
- 多くの保護者が私立を選択している理由は、3歳児学級があるから。3歳児学級が市立にあれば、現在8割の比率がかわってくるのでは。
- 墨江小学校進学予定だったのと外遊びが多いので墨江幼稚園を選んだ。一人一人の子どもに合わせて対応してくれる教育内容がいい。生活発表会の内容を子どもたちの意見を取り入れ一緒に作り子どもたち自身が考えながら作っているところがよかった。自然と考える力がついていて、やらされている感がなかった。地域と密着している。毎日送り迎えをするので、同学年だけでなく異学年の子ども顔もわかり声を掛け合うので、地域の安全性につながる。墨江幼稚園にはその先に進学する墨江小学校、清水丘小学校、墨江丘中学校との親同士のつながりがあり、違う世代の人と知り合うことができ、子育ての悩みを相談できたり情報交換できたりして親も子どもと一緒に成長できる。3人目は私立のほうが補助があり安く通えるが、市立を選ぶ。全ての人が私立の教育内容がいいからと選んでいるわけではない。市立に通わせ

- たいが下に子どももおり、遠いから通えないという人もいる。民営化になって私立だけになると経営のためこれができるあれができるとアピール合戦になり、園児の取り合いになってしまう不安がある。
- 教育委員会の掲げている「生きる力を育む」という教育方針に基づきしっかりと子どもたちは育っている。子どもを産んだ時から公立に入れようと思い、2歳ごろから歩くことをしていた。自宅から住吉幼稚園まで子どもの足で1時間かかるところを歩いて通園している。1時間の間にいろんなことを話しながら通っている。私立はバスがあったり、色とりどりの遊具がたくさんあるが住吉幼稚園にはない。今の世の中、全てが飽和状態の中で無いことの豊かさを知ってほしい。ものがありすぎて気付かない事がある。住吉幼稚園は園庭が広く、季節に応じて花が咲いたり実がなったりする。色鮮やかな遊具がたくさんあっても自然の色には負ける。子どもは自然のまま生きて、自然のものを取り入れて、自然にはぐくまれ育っていく。自然とふれあい、遊具が少ないからこそ自分の知恵を使っ先生に教えてもらいながらいろんなことを考え育っていく。…
- ここには、1時間かけても通いたいと思うことが揃っている。公立にはバスがない。保護者が通園許可書をつけ送り迎えすることによって幼児犯罪の抑止力になっている。PTA活動は全員参加なので、学年関係なしに母親が交流している。
- 初めての子どもの幼稚園を選ぶ時には情報がたくさんあり考えた。私立のすべての園に顔を出したり、ママ友の横のつながりで話を聞いて頭ばかり大きくなった経験がある。ある私立の運動会に行ったことがある。これは批判ではないが、鼓笛があったりしてお母さんたちは満足して泣いていた。そういう作り上げられたものに感動することはあった。ただ、練習過程を見ていると私の子どもには向いていないと思った。いろいろな考え方があると思う。各園それぞれにいろんな教育目標があり、保護者それぞれ

- が自身の教育論に基づき選ぶので違っていいと思う。
- 園選びで着目していたのは、園舎でも遊具でも教育論でもなく園の先生が子どもたちに対する姿をよく見ていた。私立では子どもたちに対してぞんざいな扱い、時間に追われて早くしなさいよと母親でもするようなことではあるが、先生がすべきではないような態度を見かけた。墨江幼稚園に見学に行くと子どもたちがのびのびしていて笑顔で笑い声が高らかだった。自分の子どもが笑っているのを見て自分も笑顔になれるのがすばらしいと思った。その時に何も無い付加価値を実感した。
- 今子どもたちが受けている教育内容は市立でないとできないと確信している。市立と同じ教育内容の私立は少ない。ほぼないに等しいくらいだ。なぜやっているところがないのか。この教育方針では経営的にやっていけないからやっていない。市立でやっていることが私立でできない事はないと言い切る根拠はどこにあるのか？
- 結局のところ、民営化を進めると思っているのか？ブログでは、区役所でも考えるので幼稚園でも考えてと言っていたが、区長の言うことはどうやったらできるのかという疑問だけで区役所からの提案がなかったのはどうしてか？
- 教育とは長いスパンでみるものだ。市長がトップダウンでいろいろ決めているが教育はそう決めてはいけない。…責任の所在がない。区長が決めると言っていたのに、市長と教育委員会が決める。市長は民営化できないなら区長を交代させると言っている。結局、民営化ありきで進んでいる。こんな短い期間で精査などできない。はじめから民営化ありきなら精査する必要はない。プロセス、仕組みをもう少し考えてからやっていかないといけない。これからの大阪のことを考えると、この短いスパンで決めたことが本当によかったかどうかわからない。
- 特別支援を要する子どもたちを受け入れるための先生の研修は私立でできるのか？公立でやっていた先生への研修に3年で追いつけるのか？